

五卷本『庸言知旨』校注(8)

竹越 孝

(承前)

- 8 jakūci fiyelen.  
第八章  
第八章<sup>1</sup>(二/八 1a1)
- 8-1-1 niyalmai omire jeterengge beyebe etuhun okini eberere be aitubume  
人が 飲み 食べる こと 身体を 強壯 になるがよい 衰え を 治癒し  
ujikini sere jalin kai.  
養うがよい という ため だぞ  
人喫喝為的是壯身子養氣力呀(二/八 1a2-3)
- 8-1-2 aika ilenggu i selara jalin sehenio.  
まさか 舌 の 満足 のため と思ったか  
難道聽見說為舌頭舒服嗎(二/八 1a3)
- 8-1-3 tere carure colara suwaliasun acabure hacin giyangnarangge.  
それ 揚げる 炒める 調味料 合わせる 種類 究めること  
那個講究煎炒烹調的(二/八 1a3-4)
- 8-1-4 gemu ilenggu be argadame selabure jalin kicere niyalma.  
みな 舌 を 計略で 楽しませる ため 励む 人  
都是變着方法兒圖快活舌頭的人(二/八 1a4-5)
- 8-1-5 akdarakū oci si gūnime tuwa.  
信じない ならば 君 考えて みよ  
若是<sup>2</sup>不信你想と(二/八 1a5-1b1)
- 8-1-6 yaya booha saikū jeke manggi.  
凡そ 料理 肴 食べた 後  
凡喫下去的肴饌(二/八 1b1)
- 8-1-7 guwejihe hatuhūn oho.  
胃 塩辛く なった

<sup>1</sup> 第八章：刊本は以下の全19条を欠く。辛卯本はこの漢訳を欠く。

<sup>2</sup> 是：辛卯本はこの一字を欠く。

- 胃口可嫌過鹹了 (二/八 1b1)
- 8-1-8 jušuhun oho seme biburakū oksime tucibuhe be.  
酸っぱく なった と 留めず 吐き 出したの を  
酸了不存住吐出来的 (二/八 1b2)
- 8-1-9 šan i hoho de si emken donjihao..  
耳 の たぶ で 君 一つ 聞いたか  
你耳朵眼兒<sup>3</sup>裡聽見一個來着嗎 (二/八 1b2-3)
- 8-2-1 booha i dolo.  
料理 の 内  
菜肴内 (二/八 1b4)
- 8-2-2 ai hacin i alin i niyarihūn mederi i ferguwecuke jaka bi seme.  
どの 様に 山 の 新鮮な 海 の 珍しい 物 ある としても  
憑你怎麼樣<sup>4</sup>山珍海錯 (二/八 1b4-5)
- 8-2-3 eiterecibe musei bujuha yali de isirakū.  
総じて 我々の 煮た 肉 に 及ばない  
摠<sup>5</sup>而言之不及咱們的白煮肉 (二/八 1b5)
- 8-2-4 amtan tumin bime bolgo.  
味 濃く あって 清い  
味厚而乾淨 (二/八 1b5-2a1)
- 8-2-5 niyalma simebume ujibumbi.  
人 潤し 養う  
能滋養人 (二/八 2a1)
- 8-2-6 booha oci.  
料理 は  
菜肴呢 (二/八 2a1)
- 8-2-7 amtan suwaliyata guwejihe kokirabumbi..  
味 混ざったもの 胃 傷つける  
味禱胃口受傷 (二/八 2a1-2)
- 8-3-1 niyalma aika angga hefeli i jalin gūnin kiceci.  
人 もしも 口 腹 の ために 心 努めれば  
人要為口腹用心 (二/八 2a3)

<sup>3</sup> 兒：辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>4</sup> 怎麼樣：辛卯本は「有什麼」に作る。

<sup>5</sup> 摠：辛卯本は「總」に作る。

- 8-3-2 urunakū soningga jaka baime bahara be sebjen.  
必ず 珍しい 物 求めて 得るの を 楽しみ  
必要謀得狠希罕的東西為可樂 (二/八 2a3-4)
- 8-3-3 jemengge hacin be fulu dagilara be wesihun.  
食べ物 種類 を 多く 備えるの を 貴い  
以食品様数多為尊貴 (二/八 2a4-5)
- 8-3-4 jiha be labdu fayara be derengge obumbi.  
錢 を 多く 費やすの を 榮譽 とする  
以多花錢為體面 (二/八 2a5)
- 8-3-5 uttu ohode yabun gūtubure de isinambi.  
こう ならたら 行い 辱める に 至る  
要是這們着有玷品行 (二/八 2b1)
- 8-3-6 tuttu ofi.  
そう なので  
所以 (二/八 2b1)
- 8-3-7 mengdz i henduhengge.  
孟子 の 言ったこと  
孟子上説 (二/八 2b1-2)
- 8-3-8 omire jetere jalin i niyalma be niyalma fusihūlarangge.  
飲み 食う ための 人 を 人 賤しむこと  
飲食之人則人賤之矣 (二/八 2b2)
- 8-3-9 ajige be ujime amba be ufaraha turgun de kai sehebi..  
小 を 養い 大 を 失った 故 に だぞ と言っている  
為其養小以失大也 (二/八 2b3)
- 8-4-1 hukšeri belei buda.  
老 米の 飯  
老米飯 (二/八 2b4)
- 8-4-2 nilukan bime wangga ofi.  
滑らか であって 良い香り なので  
滑溜而且香 (二/八 2b4)
- 8-4-3 cafur cifur seme jing buliyame bisire de.  
さら さら と ちょうど 飲み込んで いる と  
香と甜と<sup>6</sup>正喫着 (二/八 2b4-5)

---

<sup>6</sup> 甜と : 辛卯本は「甜甜的」に作る。

- 8-4-4 gaitai weihe de kacar seme emgeri guwengke šurga 見鑑註 werembi  
 突然 齒 に こちん と 一度 鳴った 砂 取る  
 dere seme.  
 だろう と  
 猛然噶支一聲牙7崩了8當是沙子呢 (二/八 2b5-3a1)
- 8-4-5 elhei waliyame tucibufi tuwaci.  
 ゆっくり 吐き 出して 見ると  
 慢々的吐出来一瞧 (二/八 3a1)
- 8-4-6 dule jeren yali i dorgi emu selei muhaliyan biheni.  
 なんと 黄羊 肉 の 中 の 一 つ 鉄 の 玉 だったか  
 原来是黄羊肉裡的9鉄砂子 (二/八 3a2)
- 8-4-7 tetele ere saifa weihe. kemuni niyenyeršeme nimembi..  
 今まで この 奥 齒 まだ そつと噛むと 痛む  
 到如今這個老牙還慥硬發疼呢 (二/八 3a2-3)
- 8-5-1 bi daci katang seme mangga<sup>10</sup> de amuran.  
 私 元々 かちかち と 硬い の を 好む  
 我當日好喫硬東西 (二/八 3a4)
- 8-5-2 tere tong sere silemin.  
 その がっちり と 齒応えある  
 那個挺皮辣的 (二/八 3a4)
- 8-5-3 eici nunggalaha lalanji booha be.  
 或いは 柔くした ぐにゃぐにゃの 料理 を  
 或炖爛的菜 (二/八 3a5)
- 8-5-4 bi gemu hihalarakū bihe.  
 私 いずれも 好まずに いた  
 我都不希罕來着 (二/八 3a5)
- 8-5-5 te weihe teksin. se mulan bahara unde bicibe.  
 今 齒 揃い 歳 数 得て いない けれども  
 如今雖然牙齒整莊歲數未老 (二/八 3a5-3b1)

<sup>7</sup> 牙：五卷本はこの一字を欠く。

<sup>8</sup> 了：辛卯本はこの後に「一下子」を有する。

<sup>9</sup> 的：辛卯本はこの後に「一個」を有する。

<sup>10</sup> mangga：辛卯本は angga に作る。

- 8-5-6 urui angga de nilukan haihū ning be buyembi.  
 ただ 口 に 柔 和な ものを 好む  
 只是愛順口軟和的 (二/八 3b1-2)
- 8-5-7 majige manggalame saire de gemu bambi..  
 少し 力を入れて 嚙むの に みな 飽きる  
 畧咬着費点勁兒就不愿意 (二/八 3b2-3)
- 8-6-1 we terebe omire fulu.  
 誰 彼を 飲むこと 多い  
 誰<sup>11</sup>說的他<sup>12</sup>酒量大 (二/八 3b4)
- 8-6-2 omimbihede. urunakū morolombi.  
 飲んでいたら 必ず 碗を使う  
 喝動必用盃<sup>13</sup> (二/八 3b4)
- 8-6-3 hūntahan be hihalarakū seheni.  
 盃 を 好まない と言ったか  
 不希<sup>14</sup>罕鍾子呢 (二/八 3b4-5)
- 8-6-4 etenggi be kiyangkiyan bilambi sehengge si kai.  
 強者 を 強い者 挫く と言ったこと 君 だぞ  
 強中只<sup>15</sup>有強中手的<sup>16</sup>話竟是你呀 (二/八 3b5)
- 8-6-5 hon nahūnjara sereburakū.  
 とても 謙遜と 感じさせない  
 不覺狠讓 (二/八 3b5-4a1)
- 8-6-6 damu tuwaci majige dolmoki dolmoki sehei.  
 ただ 見れば 少し 注ごう 注ごう と言ったまま  
 只看你說描点罷描点罷 (二/八 4a1)
- 8-6-7 fulu utala coman hacihiyaha.  
 多く これほど 大杯 勧めた  
 多讓了許多缸子 (二/八 4a1-2)

---

<sup>11</sup> 誰：五卷本はこの一字を欠く。

<sup>12</sup> 的他：辛卯本は「他的」に作る。

<sup>13</sup> 盃：辛卯本は「碗」に作る。

<sup>14</sup> 希：辛卯本は「稀」に作る。

<sup>15</sup> 只：辛卯本は「自」に作る。

<sup>16</sup> 的：辛卯本はこの一字を欠く。

- 8-6-8 te aššara arbušara de. emgeri keler seme 見小雅 oho.  
今 動き 回る と 既にぐらぐらと なった  
這會兒動彈着已經發散亂咧 (二/八 4a2-3)
- 8-6-9 jai udu coman nerebume gidaha de.  
更に何 杯か 加えて 強いたら  
再要加着栽幾缺子 (二/八 4a3)
- 8-6-10 toktofi tuhere isire ombi. 見鑑 hesitembi 註<sup>17</sup>  
きっと 前後 不覚 になる  
必至<sup>18</sup>一溜歪斜的 (二/八 4a3-4)
- 8-6-11 isika joo.  
充分だ やめよ  
穀了罷了 (二/八 4a4)
- 8-6-12 talu de nure be eterakū nimehe sehede..  
万 一 酒 に 勝てず 病気になった としたら  
萬一不勝酒<sup>19</sup>弄病了呢 (二/八 4a4-5)
- 8-7-1 musei jetere be doboro juktere de duibuleci ojarahū.  
我々が 食べるの を 供え 物 に 比べること できない  
咱們喫的比不得供獻的 (二/八 4b1)
- 8-7-2 urui sebceleki serengge. geli ai sebjen.  
専ら 味わおう と思うもの また 何の 楽しみ  
務必要嚐新又有什麼樂呢 (二/八 4b1-2)
- 8-7-3 tere anggala hengke tubihe i banin de.  
その 上 瓜 果 の 性質 で  
況且瓜菓的性 (二/八 4b2-3)
- 8-7-4 urefi jeci acara.  
熟して 食べる べき  
有應熟喫的 (二/八 4b3)
- 8-7-5 eshun suwaliyame jeci acara teisu.  
生 混ぜて 食べる べき 適量  
有應帶生兒喫的 (二/八 4b3)

<sup>17</sup> 見鑑 hesitembi 註：辛卯本は「hesitembi 見鑑註」に作る。

<sup>18</sup> 至：辛卯本は「致」に作る。

<sup>19</sup> 酒：辛卯本はこの後に「力」を有する。

- 8-7-6 meimeni encu.  
各々 異なる  
各と情形不同 (二/八 4b4)
- 8-7-7 tubihe oci.  
果物 は  
菓子是 (二/八 4b4)
- 8-7-8 urere hancikan. banjime gaifi jeci. teni sain.  
熟す 直前 生やして 取って 食べれば やつと 良い  
将熟的時候生摘下来喫纔好 (二/八 4b4-5)
- 8-7-9 aika ureme jabdure be aliyaci.  
もしも 熟して 余りあるのを 待てば  
若等<sup>20</sup>熟透了 (二/八 4b5)
- 8-7-10 gaitai emu falga edun de.  
突然 一陣の 風 に  
忽然一陣風 (二/八 4b5-5a1)
- 8-7-11 pata piti lasihibume tuhebuhe manggi.  
ぽと ぽと 吹かれて 落とされた 後  
壁<sup>21</sup>的琶<sup>22</sup>的刮下来 (二/八 5a1)
- 8-7-12 fiyartun sangga banjinafi.  
傷跡 穴 生じて  
摔得<sup>23</sup>疤拉流星的 (二/八 5a1-2)
- 8-7-13 dosi gūldurara teile akū. amtan inu dahame gūwaliyambi.  
中に入っていく だけでなく 味 も 従って 変わる  
不但往裡套着壞味兒也跟着變 (二/八 5a2)
- 8-7-14 hengke oci.  
瓜 ならば  
要是瓜 (二/八 5a3)
- 8-7-15 urunakū urere be aliyafi.  
必ず 熟するのを 待って  
必得<sup>24</sup>等着熟了 (二/八 5a3)

<sup>20</sup> 等：辛卯本はこの後に「着」を有する。

<sup>21</sup> 壁：辛卯本は「劈」に作る。

<sup>22</sup> 琶：辛卯本はこの後に「搭」を有する。

<sup>23</sup> 得：辛卯本は「的」に作る。

- 8-7-16 emgeri acinggiyafi.  
一度 動かし  
到個<sup>25</sup>動瓜 (二/八 5a3)
- 8-7-17 igehe ini cisui tuhere de isinaha de teni jeci ombi.  
へた 自然と落ちるのに至ったらやっと思べられる  
把兒自己掉了的時候纔可喫得 (二/八 5a3-4)
- 8-7-18 erileme jeme sain booha be baiburakū sehengge.  
時に応じ 食べ 良い 料理 を 求めない と言ったこと  
食時不利珍的話 (二/八 5a4-5)
- 8-7-19 yargiyan i giyan bifi kai..  
本当 に 道理 あった ぞ  
實在有理啊 (二/八 5a5)
- 8-8-1 daci jeku de fiyancihyan.  
元々 食 に 細い  
起根兒<sup>26</sup>飲食上<sup>27</sup>雖有限 (二/八 5b1)
- 8-8-2 bilha bišungga bicibe.  
口 賤しくない けれども  
喫東西尊貴 (二/八 5b1)
- 8-8-3 sonjome waliyame kemuni emu udu angga jeci ombihe.  
選び 捨てて まだ 一 二 口 食べられていた  
挑と剔との還可以喫幾口来着 (二/八 5b1-2)
- 8-8-4 te seibeni adali akū oho.  
今 以前 の様 でなくなった  
如今不像<sup>28</sup>先了 (二/八 5b2)
- 8-8-5 cebke cabka seme sabalacibe.  
選り 取り して 摘んでも  
挑と搭との動筷兒 (二/八 5b3)

---

<sup>24</sup> 得：辛卯本は「定」に作る。

<sup>25</sup> 個：辛卯本はこの後に「一」を有する。

<sup>26</sup> 兒：辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>27</sup> 上：辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>28</sup> 像：辛卯本は「象」に作る。



- 8-8-6 manggai cimkišame majige amtan<sup>29</sup> gaifi nakambi.  
 せいぜい ちよっぴり 少し 味 取って 止めるだけだ  
 不過是啞点味兒<sup>30</sup>就算了 (二/八 5b3-4)
- 8-8-7 hendure gisun. yali booha be aika udu erin nurhūfi dubikede<sup>31</sup>.  
 言う 話 肉 料理 を もしも 何 回か 続けて 慣れたら  
 常説的是肉菜若一連幾頓喫絮了 (二/八 5b4-5)
- 8-8-8 oforo i hanci fimeci ojarahū sembi.  
 鼻 の そばに 近づくこと できない という  
 離鼻子近了聞不得 (二/八 5b5)
- 8-8-9 yadalinggū<sup>32</sup> i harun.  
 弱い の ため  
 是弱<sup>33</sup>了的緣故哦<sup>34</sup> (二/八 5b5)
- 8-8-10 adarame.  
 どうして  
 是怎麼的哦 (二/八 6a1)
- 8-8-11 aide kebse uttu eberehebini<sup>35</sup>..  
 なぜ 急に この様に 衰えているか  
 怎麼一下子這們衰憊了呢 (二/八 6a1)
- 8-9-1 tukiyehe fila.  
 上げた 皿  
 擺上来的碟子 (二/八 6a2)
- 8-9-2 gemu olhoho kataha kete kata jaka.  
 みな 乾いて 硬くなった かし かし 菓子  
 都是乾吧<sup>36</sup>零碎乾喫食 (二/八 6a2)
- 8-9-3 suweni gese cihangga be tuwame.  
 君達の 様に 好むの を 見て

<sup>29</sup> amtan : 辛卯本は wa に作る。

<sup>30</sup> 兒 : 辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>31</sup> dubikede : 辛卯本は tubikede に作る。

<sup>32</sup> yadalinggū : 辛卯本は yadalinggo に作る。

<sup>33</sup> 弱 : 辛卯本は「溺」に作る。

<sup>34</sup> 哦 : 辛卯本は「呢」に作る。

<sup>35</sup> eberehebini : 辛卯本は eberekebini に作る。

<sup>36</sup> 吧 : 辛卯本は「把」に作る。

- 瞧着你們揀着愛<sup>37</sup>的 (二/八 6a2-3)  
 8-9-4 angga de taksirakū.  
 口 に 残らない  
 到口不打躑兒 (二/八 6a3)
- 8-9-5 kafur kufur kajara be tuwaci.  
 さく さく 嚙むの を 見ると  
 喫的香嚼的脆的樣兒 (二/八 6a3-4)
- 8-9-6 yargiyan i buyeršecuke.  
 本 当 に 羨ましい  
 實在可羨慕 (二/八 6a4)
- 8-9-7 mini enderi senderi weihe.  
 私の ぼろ ぼろの 齒  
 我這半零不落的牙 (二/八 6a4)
- 8-9-8 katang serebe aisere.  
 かちかち するものを どう言う  
 別說是响乾的 (二/八 6a5)
- 8-9-9 majige manggakan ningge be inu saici ojarahū.  
 少し やや硬い もの を も 嚙むこと できない  
 連畧硬一點兒<sup>38</sup>的也咬不得 (二/八 6a5-6b1)
- 8-9-10 manggai fusur seme ašume wenerengge be.  
 せいぜい ふわふわ と 含んで 溶けるもの を  
 至狠不過稀酥到口就化的 (二/八 6b1)
- 8-9-11 jeci majige jetere dabala.  
 食べれば 少し 食べる だけだ  
 要喫と点子罷咧 (二/八 6b1-2)
- 8-9-12 jaci korsocuka.  
 誠に 恨めしい  
 太也可恨 (二/八 6b2)
- 8-9-13 weri sain gūnin i ulebure de.  
 他人 良い 心 で 食べさせるのに  
 人家好心給喫 (二/八 6b2)

---

<sup>37</sup> 愛：辛卯本はこの後に「吃」を有する。

<sup>38</sup> 兒：辛卯本はこの一字を欠く。

- 8-9-14 terebe bi hihalarakū.  
それを 私 好まない  
要是那個我不希罕 (二/八 6b2-3)
- 8-9-15 ede bi amran seci.  
ここで 私 好む と言え  
這個我愛 (二/八 6b3)
- 8-9-16 weri be yoktakū obure be dahame.  
他人を 気まずく する の だから  
給人家沒意思 (二/八 6b3-4)
- 8-9-17 ulhingge akū kai.  
聰明 でない ぞ  
算不懂<sup>39</sup>脉兒 (二/八 6b4)
- 8-9-18 ainame ainame buliyame.  
いい 加減に 飲み込み  
不拘怎麼扒拉的 (二/八 6b4)
- 8-9-19 hefeli be ebibufi.  
腹 を 一杯にし  
肚子飽了 (二/八 6b4-5)
- 8-9-20 boihoji<sup>40</sup> i gūnin be mekele oburakū oci wajiha..  
主人 の 心 を 虚しく させない ならば 終わりだ  
不罔費主人的心就是了 (二/八 6b5)
- 8-10-1 niyalma nure omiki seci.  
人 酒 飲みたい と思えば  
人要喝酒 (二/八 7a1)
- 8-10-2 teisu de ilinjacina.  
適量 で 止めておけ  
到是了分兒止住罷咱 (二/八 7a1)
- 8-10-3 urui heihedere suharara de isibuhade.  
専ら よろめき 頭を垂れる に 至ったら  
必要喝到搖幌灘化了 (二/八 7a1-2)
- 8-10-4 ai sebjen ba bini.  
何の 楽しい 所 ある

---

<sup>39</sup> 懂：辛卯本は「董」に作る。

<sup>40</sup> boihoji：辛卯本は boigoji に作る。

- 有什麼樂處呢 (二/八 7a2)
- 8-10-5 erdeken i eteme bargiyatame gamaci.  
 早目 に 進んで 収めて 持って行けば  
 早と兒<sup>41</sup>板着收斂着去 (二/八 7a2)
- 8-10-6 beyede tusa.  
 身体に 有益だ  
 於<sup>42</sup>身子有益 (二/八 7a3)
- 8-10-7 omime genehei. oforo dere ufuhunefi.  
 飲んで 行ったまま 鼻 顔 膨れ  
 赶喝到鼻子臉糟了 (二/八 7a3)
- 8-10-8 bešhun ohode.  
 酒呆け になったら  
 酒泡透了的時侯 (二/八 7a3-4)
- 8-10-9 aliyara seme amcaburakū.  
 後悔 しても 間に合わない  
 追悔不及<sup>43</sup> (二/八 7a4)
- 8-10-10 ai jorin biheni.  
 何の 意味 あったか  
 可是何苦来呢 (二/八 7a4)
- 8-10-11 ama eme i werihe tondokon sain muyahūn beye.  
 父 母 の 残した 真っ直ぐで 良い 完全な 身体  
 父母留下好と的<sup>44</sup>齊全身子 (二/八 7a4-5)
- 8-10-12 umai huhu suyen i ekšun de waliyara jalin banjinjhangge waka dere..  
 決して 麴 滴り水 の 酒糟 に 捨てる ために 生れてきたもの でない だろう  
 並不是為葬送在渾湯子上生了<sup>45</sup>来的啊 (二/八 7a5-7b1)
- 8-11-1 cimarilame ilifi. dere hūmaramame.  
 夜が明けて 起きて 顔 朦朧とし  
 一清早起来回着臉 (二/八 7b2)

---

<sup>41</sup> 兒：辛卯本は「的」に作る。

<sup>42</sup> 於：辛卯本は「與」に作る。

<sup>43</sup> 及：辛卯本はこの後に「呀」を有する。

<sup>44</sup> 的：辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>45</sup> 了：辛卯本はこの一字を欠く。

- 8-11-2 uthai erebe fulmiyeme terebe tebume garu turu dasahai.  
 すぐに これを 縛り あれを 詰めて きび きび 治めたまま  
 就拵<sup>46</sup>這個裝那個手忙脚亂 (二/八 7b2-3)
- 8-11-3 dolo tule šodokoi<sup>47</sup>.  
 内 外 歩いたまま  
 出来進去的 (二/八 7b3)
- 8-11-4 gala bethe majige teyendere ilinjara ba akū.  
 手 脚 少しも 休み 止まる 所 なく  
 手脚不時間直到這會兒 (二/八 7b3-4)
- 8-11-5 šuwe ertele. onggolo suweni budalara erinde.  
 ずっと 今まで 先に 君達が 食事した 時に  
 你們頭裡<sup>48</sup>喫飯的時候 (二/八 7b4-5)
- 8-11-6 mini dolo uthai giyor seme guweme deribuhe.  
 私の 腹 すぐ ぐう と 鳴り 始めた  
 我肚裡就餓的响起来了 (二/八 7b5)
- 8-11-7 tere yali booha i wa oforo de bahabume.  
 その 肉 料理 の 香り 鼻 に 立ち込めて  
 聞着那個肉菜的香味兒 (二/八 8a1)
- 8-11-8 mujakū hanjambihe.  
 必死に 耐えていた  
 好不饑的慌 (二/八 8a1)
- 8-11-9 baita icihiyambikai.  
 事 処理するぞ  
 幹事啊 (二/八 8a1-2)
- 8-11-10 emgeri deribuci tetendere. nakara kooli akū.  
 一度 始めた からには やめる 道理 ない  
 心想着一不作二不休 (二/八 8a2)
- 8-11-11 emgeri de mutebuci emursu seme gūnime.  
 一度 に できれば 簡単だ と 思い  
 一式兒幹了と簡便 (二/八 8a2-3)

<sup>46</sup> 拵：辛卯本はこの後に「着」を有する。

<sup>47</sup> šodokoi：辛卯本は šodohoi に作る。

<sup>48</sup> 頭裡：辛卯本は「裡頭」に作る。

- 8-11-12 **tuttu emu ergen i hūsutuleme facihyašaha.**  
 その様に 一 氣 に 努力して 頑張った  
 所以一氣兒努力巴結下来 (二/八 8a3)
- 8-11-13 **te ai ai gemu jabduha.**  
 今 諸々 みな 暇ができた  
 這會兒數起来的可都明白了 (二/八 8a3-4)
- 8-11-14 **jing elhe sulfa i cihai jeci ome oho wakao.**  
 正に 平安 自由 の ままに 食べられるようになった 違うか  
 正可以消と停との随意兒喫咧不是麼 (二/八 8a4-5)
- 8-11-15 **hefeli ubiyada. geli oktorohon banjihabi..**  
 腹 忌々しい また 餓え 過ぎている  
 肚子又<sup>49</sup>討人嫌可<sup>50</sup>又餓過了 (二/八 8a5)
- 8-12-1 **ufa ehe ufai da 見鑑 ufa i šugi 註 labdu.**  
 粉 悪い 粉の 麩 多い  
 麵不好麩子多<sup>51</sup> (二/八 8b1)
- 8-12-2 **ai hacin i halabucibe.**  
 どの 様 に 換えさせても  
 不拘怎麼樣的教換 (二/八 8b1)
- 8-12-3 **i urui<sup>52</sup> fufutame simbe akabumbi<sup>53</sup>.**  
 彼 いつも ぐずついで 君を 困らせる  
 他總是折鋸兒磨你 (二/八 8b1-2)
- 8-12-4 **ja ja de narhūn šanyan ufa burakū.**  
 簡 単 に 細く 白い 粉 寄こさない  
 輕容易不給細白麵 (二/八 8b2-3)
- 8-12-5 **arga akū tuhe efen harifi nikedeme hefeli cingkabure dabala.**  
 仕方 なく 煎 餅 焼いて 何とか 腹 充たす だけだ  
 沒法兒<sup>54</sup>烙了<sup>55</sup>餅將就着植肚子罷咧 (二/八 8b3-4)

<sup>49</sup> 又：辛卯本は「太」に作る。

<sup>50</sup> 可：辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>51</sup> 多：辛卯本は「大」に作る。

<sup>52</sup> urui：辛卯本はこの一語を欠く。

<sup>53</sup> akabumbi：辛卯本は akambi に作る。

<sup>54</sup> 兒：辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>55</sup> 了：辛卯本はこの一字を欠く。

- 8-12-6 cenanggi hangse furufi sile de maktaci.  
 先日 麵 切って 肉汁 に 入れると  
 前日切了麵條兒<sup>56</sup>一下到湯裡 (二/八 8b4)
- 8-12-7 ai tuttu hūsun akū.  
 なぜ この様に 力 ない  
 怎麼那們糟啊 (二/八 8b4-5)
- 8-12-8 sar seme gemu buyasi 見鑑 weihede 註 meyen ome fakcafi.  
 ばらばら と みな 小さい 塊 になって 切れて  
 七零八落的都散成碎段兒 (二/八 8b5)
- 8-12-9 mucen jalu hangse i dube noho ohobi..  
 鍋 一杯 麵 の 先ばかり になった  
 滿鍋都是些麵頭子了 (二/八 8b5-9a1)
- 8-13-1 coko i humsuhun i sukū oci.  
 鶏 の 砂肝 の 皮 は  
 鷄肫皮 (二/八 9a2)
- 8-13-2 okto kai.  
 藥 だぞ  
 是藥啊 (二/八 9a2)
- 8-13-3 erebe ebeniyefi silgiyafi bolgo obume dasatafi.  
 これを 水に漬け 濯いで 清潔 にして 整え  
 把這個泡了洗了收拾淨了 (二/八 9a2-3)
- 8-13-4 oncohon umušuhun wase be yaha de deijime.  
 表向き 裏向き 瓦 を 火 で 焼き  
 拿陰陽瓦燒在火上 (二/八 9a3-4)
- 8-13-5 humsuhun i sukū be wasei dolo bolame olhobufi.  
 砂肝 の 皮 を 瓦の 中で 炙り 乾かして  
 把肫皮放在瓦裡焙乾了 (二/八 9a4)
- 8-13-6 nijarame mejebufi.  
 粉々に 砕いて  
 研成末兒 (二/八 9a4-5)
- 8-13-7 majige šatan suwaliyafi.  
 少し 砂糖 混ぜて  
 畧攪些白糖 (二/八 9a5)

---

<sup>56</sup> 兒：辛卯本はこの一字を欠く。

- 8-13-8 jeke manggi. iktaka saksalabuha jeku be aname geterembumbime.  
 食べた 後 溜まり 留まった 食物 を 押して 清めながら  
 吃了尅銷停滯的食 (二/八 9a5-9b1)
- 8-13-9 delihun guwejihe koro baharakū.  
 脾臟 胃 損害 受けない  
 而且不傷脾胃 (二/八 9b1)
- 8-13-10 sain i asarame gaisu. ume maktara..  
 良 く 貯えて 収めよ 決して 捨てるな  
 好との收着別擲<sup>57</sup>了 (二/八 9b1-2)
- 8-14-1 jekengge dabanahao.  
 食べたもの 多すぎたか  
 喫的不知道是多了 (二/八 9b3)
- 8-14-2 ainaha.  
 どうした  
 是<sup>58</sup>怎麼了 (二/八 9b3)
- 8-14-3 booha yali sabufi asuru jeki ainaki sere ba akū.  
 料理 肉 見て あまり 食べたい どうしたい という 所 ない  
 見了肉菜總不大愛喫 (二/八 9b3-4)
- 8-14-4 dolo cehun hefeli jafabufi ping sembi.  
 胸 つかえて 腹 掴まれ ぴん とする  
 心裡膨悶肚腹燒住了鼓膨との (二/八 9b4)
- 8-14-5 umai goro yabuhakū bime.  
 全く 道 歩けず にいて  
 並沒走遠道兒 (二/八 9b4)
- 8-14-6 baibi wai seme beye niyalhūnjambi.  
 ただ ぐにやり と 身体 軟らかくなる  
 只是身子酸軟沒個氣香兒 (二/八 9b5)
- 8-14-7 eteme sebkibuki<sup>59</sup> seci fuhali tamalime muterakū.  
 進んで 蘇らせよう としても全く 持ちこたえ られない  
 使着勁<sup>60</sup>要扎挣過來呢<sup>61</sup>總扎挣不起来 (二/八 9b5-10a1)

<sup>57</sup> 擲：辛卯本は「撩」に作る。

<sup>58</sup> 是：辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>59</sup> sebkibuki：辛卯本はsebkikiに作る。

<sup>60</sup> 勁：辛卯本はこの後に「兒」を有する。



- 8-14-8 gala kaltu multu maša baharakū.  
手 どうしても 力 入らない  
手不得勁兒攥不結實 (二/八 10a1)
- 8-14-9 bethei ergi hūsun akū.  
脚の 方 力 ない  
脚底下沒根兒 (二/八 10a1-2)
- 8-14-10 ton akū falintame afatambi.  
限り なく 絡んで 纏れる  
不住<sup>62</sup>跌脚踏脚的 (二/八 10a2)
- 8-14-11 ai haran bihe.  
何の ため だった  
什麼過失呢 (二/八 10a2)
- 8-14-12 ai hūdun labsa eberekeni..  
なぜ 早く 非常に 衰えたか  
怎麼一會兒弱到這麼個兒田地了呢 (二/八 10a2-3)
- 8-15-1 balai ulha ujime warangge.  
妄りに 家畜 飼って 殺すこと  
胡亂殺牲口 (二/八 10a4)
- 8-15-2 sain baita waka bicibe.  
良い 事 でない けれども  
雖不<sup>63</sup>好事 (二/八 10a4)
- 8-15-3 sakda ahūn se baru oho.  
老いた 兄 老境 になった  
老兄有了年紀了 (二/八 10a4-5)
- 8-15-4 yali jeci.  
肉 食べれば  
喫肉 (二/八 10a5)
- 8-15-5 teni oori simen be karmame wasime genere be etuhun obumbi.  
やっ と 精 力 を 保ち 衰えて 行くの を 強壯 にする  
纔保精神壯氣力 (二/八 10a5-10b1)

---

<sup>61</sup> 呢：辛卯本は「着」に作る。

<sup>62</sup> 住：辛卯本はこの後に「的」を有する。

<sup>63</sup> 不：辛卯本はこの後に「是」を有する。

- 8-15-6 **enduringge niyalma inu ninju seingge. yali akū oci ebirakū** 見内則  
 聖 人 も 六十 歳の者 肉 ない ならば 飽きない  
**sehe dabala.**  
 と言った だけだ  
 聖人也只説六十非肉不飽 (二/八 10b1-2)
- 8-15-7 **umai targa naka sehekūbi..**  
 決して 戒めよ 止めよ と言っていない  
 並沒説教忌了別喫啊 (二/八 10b2-3)
- 8-16-1 **belei nijihe suwaliyame buda arafi.**  
 米の 砕いたもの 混ぜて 飯 作り  
 帶着碎米心子做了飯 (二/八 10b4)
- 8-16-2 **antaha de tukiyecī.**  
 客 に 供えれば  
 待<sup>64</sup>客 (二/八 10b4)
- 8-16-3 **boigojilara doro waka.**  
 主人となる 道理 でない  
 不是主人的<sup>65</sup>道理 (二/八 10b4)
- 8-16-4 **ere nemehengge bolgo akū.**  
 この 増やしたもの 清潔 でない  
 這個串的 不幹淨 (二/八 10b5)
- 8-16-5 **dasame siseme damnafi.**  
 改めて 篩に かけて  
 從新細と的<sup>66</sup>篩了 (二/八 10b5)
- 8-16-6 **jai suksume.**  
 また 簸り  
 再簸 (二/八 10b5)
- 8-16-7 **saikan sara.**  
 良く 簸り出せ  
 好生煞 (二/八 10b5-11a1)
- 8-16-8 **funcuhe buya bele be.**  
 残った 小さい 米 を

---

<sup>64</sup> 待：五卷本は「侍」に作る。

<sup>65</sup> 的：辛卯本は「家」に作る。

<sup>66</sup> 的：辛卯本はこの一字を欠く。

- 剩下的碎米子 (二/八 11a1)
- 8-16-9 musei boode moselame ufa ufafi baitalaki..  
我々の家で 挽いて 粉にして 使おう  
咱們家裡磨<sup>67</sup>了麵使喚罷 (二/八 11a1-2)
- 8-17-1 i emu eihen kutulefi.  
彼 一匹 驢馬 牽いて  
他牽着一個驢子 (二/八 11a3)
- 8-17-2 eihen de emu fulhū acifi.  
驢馬に一つ 袋 積んで  
驢子上<sup>68</sup>馱着一個口袋 (二/八 11a3)
- 8-17-3 fulhūi oilo geli emu dabargan jibsime sindahabi.  
袋の 上に また 一つ 巾着 重ねて 置いている  
口袋上又搭着個<sup>69</sup>稍馬子 (二/八 11a3-4)
- 8-17-4 tere fulhū nenggerebume fukaname. 見鑑 gūtanahabi 註<sup>70</sup>  
その 袋 傾いて 膨らみ  
那個口袋鼓と丁と<sup>71</sup>的 (二/八 11a4-5)
- 8-17-5 majige inu bišun akū.  
少し も 平ら でない  
一點兒也不平 (二/八 11a5)
- 8-17-6 ai jaka biheni seme ferguweme bišuci. gukdu gakda.  
何の 物 あったか と 不思議に思い なでれば でこぼこ  
可吶喊是什麼東西呢摸と着嘍<sup>72</sup>叮邦塊的 (二/八 11a5-11b1)
- 8-17-7 fonjici.  
聞けば  
一問 (二/八 11b1)
- 8-17-8 dule menji. beiguwe be sisime tokome tebuhebini..  
何と かぶら 芥子菜 を 押し込み 挿して 詰めていたか  
原来是蔓菁焙甕跣踏擠と<sup>73</sup>扱と的裝着呢 (二/八 11b1-2)

<sup>67</sup> 磨：辛卯本は「磨」に作る。

<sup>68</sup> 上：辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>69</sup> 個：辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>70</sup> 見鑑 gūtanahabi 註：辛卯本は「gūtanahabi 見鑑註」に作る。

<sup>71</sup> 丁と：辛卯本は「叮叮」に作る。

<sup>72</sup> 嘍：辛卯本は「幾」に作る。

- 8-18-1 niyalma be kokirafi beyede tusa arara be.  
 人 を 損ない 自身に 利益 なすの を  
 損人利己 (二/八 11b3)
- 8-18-2 geren gemu ehe yabun sembi.  
 人々 みな 悪い 行い と言う  
 衆人都説行為不好 (二/八 11b3-4)
- 8-18-3 bi tuwaci.  
 私 見るに  
 我瞧 (二/八 11b4)
- 8-18-4 hūwašan yasa fume.  
 僧侶 眼 擦り  
 和尚揉と眼 (二/八 11b4)
- 8-18-5 emu garša dasifi.  
 一枚 袈裟 かぶり  
 披上个偏衫 (二/八 11b4)
- 8-18-6 uthai badirilame tucimbi. 見佛經<sup>74</sup>  
 すぐ 托鉢しに 出る  
 就出去乞食 (二/八 11b5)
- 8-18-7 tere emke. emu fulehu i debtelin gaifi.  
 その 一人 一つ 布施 の 記録簿 持って  
 那一個拿上<sup>75</sup>縁簿 (二/八 11b5-12a1)
- 8-18-8 babade fulehun baime šurdembi.  
 方々に 恩恵 求めて 廻る  
 遶到處去化縁 (二/八 12a1)
- 8-18-9 yaya jetere baitalara hacin wacihiyame fulehusi ci tucire de akdahabi.  
 凡そ 食 用の 類 完全に 施主 から 出るの に 頼っている  
 一切食用等類都是靠着施主出 (二/八 12a1-2)
- 8-18-10 jalan i geren ergengge de adarame tusa araha be umai sabuhakū.  
 世 の 衆 生 に どんな 利益 なしたか を 全く 見えない  
 並沒見於世間衆生有什麼利益 (二/八 12a2-3)

---

<sup>73</sup> 擠と：辛卯本は「擠」に作る。

<sup>74</sup> 見佛經：辛卯本はこの注を欠く。

<sup>75</sup> 上：辛卯本はこの後に「個」を有する。

- 8-18-11 bi gelhun akū uru waka be fudarame forgošome balai leolerakū.  
私 敢え て 是 非 を 反 転して 妄りに 論じない  
我不敢顛倒是非亂談 (二/八 12a3-4)
- 8-18-12 embici ce adarame fucihi i jakade. nomun tarni hūlame.  
或いは 彼ら どの様に 仏の 前で 經 呪文 念じ  
或着<sup>76</sup>他們怎樣的在佛爺根<sup>77</sup>前誦經念咒 (二/八 12a4-5)
- 8-18-13 geren i funde jilame gosire be baime jalbariha ba bidere..  
人々の 替わりに 慈 悲 を 求め 祈禱した 所 あるだろう  
有替衆人祝禱慈悲的去處罷 (二/八 12a5-12b1)
- 8-19-1 niyengniyeri i lidu suyen.  
春 の 綠豆 汁  
春天的豆汁兒 (二/八 12b2)
- 8-19-2 tuweri i sampa misun.  
冬 の 蝦 味噌  
冬天的滷蝦 (二/八 12b2)
- 8-19-3 sampa nimenggi de gidaha sogi.  
蝦 油 に 漬けた 野菜  
滷蝦菜 (二/八 12b2-3)
- 8-19-4 gemu musei buyeme jetere amtangga jaka.  
みな 我々の 愛して 食べる 美味しい 物  
都是咱們愛喫的美味 (二/八 12b3)
- 8-19-5 uthai juwari dolo haksara ucuri.  
即ち 夏 体内 發熱する 時  
就是夏天心裡發熱的時候 (二/八 12b3-4)
- 8-19-6 tere tara ayara sere jamengge.  
あの 酸 奶 という 食べ物  
那個塔喇酸奶子等類喫食 (二/八 12b4)
- 8-19-7 šahūrukan bime jancuhūn.  
冷たく あって 甘い  
又涼又甜 (二/八 12b4-5)
- 8-19-8 jeke manggi.  
食べた 後

---

<sup>76</sup> 着：辛卯本は「者」に作る。

<sup>77</sup> 根：辛卯本は「跟」に作る。

- 喫下去 (二/八 12b5)
- 8-19-9 ilihai halhūn subuhe gese.  
すぐに 暑さ 冷めた 様  
好像<sup>78</sup>立刻解暑似的 (二/八 12b5)
- 8-19-10 yasa emgeri geterilambi.  
眼 一度 輝く  
眼睛一清亮 (二/八 12b5-13a1)
- 8-19-11 nikasai guwejihe de oci.  
漢人達の 胃 には  
到了漢人們的脾胃 (二/八 13a1)
- 8-19-12 tacin akū sere anggala.  
慣れ ない だけ でなく  
不但於此不慣 (二/八 13a1)
- 8-19-13 murime ergeleme ulebuhe de.  
無理に 強制して 食べさせたら  
若勉強給他喫了 (二/八 13a2)
- 8-19-14 kemuni fudame oksimbi kai..  
また 吐き 戻す ぞ  
還要嘔吐呢 (二/八 13a2)

(待続)

---

<sup>78</sup> 像：辛卯本は「象」に作る。